

広域行政の推進について

広域アクセス道路の整備は
広域消防体制のあり方は



西島 昌和

問 御前崎市道路整備計画による地域幹線道路として、上朝比奈を經由して金谷御前崎連絡道路と結ぶアクセス道が計画されています。実現すれば地頭方IC・須々木ICに続き3本目のアクセス道路となり、榛南地域との結びつきが強化され、産業振興や防災面での緊急輸送路、更には市道頭山線(市道西部線の延長)の完成により救急搬送道路として、両市共に相乗効果のある地域幹線道路があります。牧之原市との計画調整や取り組みは

答 4市による「浜岡原子力発電所安全対策協議会」にて核燃料税収入による地元事業への還元施策などに対して、国・県に幅広く強く要望活動等を行っております。地元の強い要望により、道路整備計画に市道108号

線(宮ヶ谷行僧原線)の延伸アクセスを示しているところですが、今後国・県の指導を得ながら、道路利用率・利便性を考慮し、牧之原市とも十分検討を行ってまいりたいと考えております。

問 広域消防について、中東遠・志太榛原の行政区境に位置する御前崎市にとり、市としてのあり方は、また、救急対応など隣接市間の相互補完や

し、救急車1台、消防車1台を配備します。カバーできない地域もあり、今後運営計画の中で検討し、初動体制のより充実と地域の実情に即した適切な消防体制とし、消防署と連携をとって防災に強いまちづくりを努力してまいります。

答 再編成については、県に対して行政区域等考慮するようお願いしていく考えです。平成20年度から広域消防運営計画を作成する上で、地域事情に十分配慮して広域化の効果を運営計画に盛り込むよう検討してまいります。平成20年4月から市役所に消防待機所を設置

問 道路整備計画の推進に当たり、隣接市との定例の協議の場づくりが必要では

答 広域道路については、個々に協議してまいります。今後静岡空港、御前崎港の更なる発展の中で、この地域も期待されており、このアクセス道路計画についてもしっかりと連携をとりながら事業を進めていきたいと思

女性専門相談窓口の設置について 不妊治療の助成制度について



岩瀬 初代

問 思春期から更年期まで生涯を通じた、女性特有の身体・精神的な悩みなどの相談を受けられる窓口を設置する考えは

答 現在静岡県では、指定医療機関において不妊治療を受けた方に対する補助制度を、平成16年度から始め、国と県が費用負担をして実施されておりますが、御前崎市においては、助成制度は行っておりません。

問 少子化対策のためにも、高額な不妊治療費の負担軽減に向け市単独の助成制度に取り組んでいる自治体が増えていますが市の考えは

御前崎市における届出出生数は、平成17年は336人・平成18年は330人で若干の減になっていることを踏まえ、検討して話せる環境に配慮しつつ、担当課の連携を密接にして、相談に対応していきたいと考えています。

不妊でお悩みのご夫婦を
静岡県がサポートします。

